

Q 浜岡原子力発電所の廃止措置は
どこまで進んでいるの?



A 運転を終了した浜岡原子力発電所1、2号機は、約34年間をかけて廃止措置が行われています。廃止措置の一連の作業は、第1段階から第4段階までの4段階に区分され、段階的に進められています。

2024年(令和6年)12月に第3段階に移行する廃止措置計画の変更認可がされました。2025年(令和7年)3月から原子炉領域である炉内構造物や原子炉圧力容器等及び原子炉領域周辺設備である原子炉格納容器の解体が進められています。

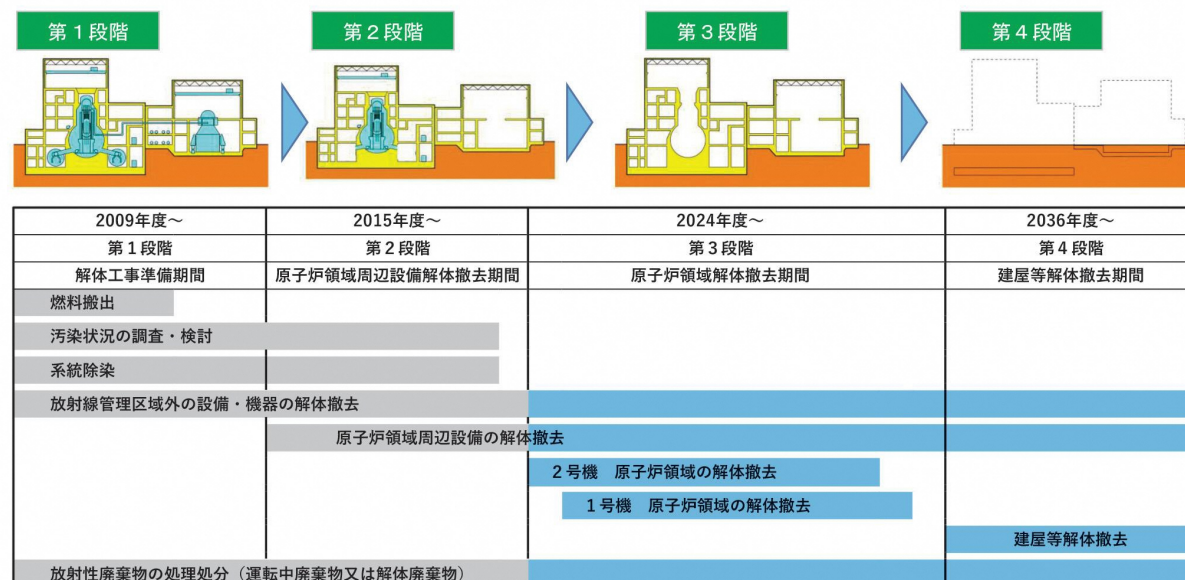


図 廃止措置の工程

浜岡原子力発電所の運転状況

前ページまでの環境放射能の測定を行った期間中(令和7年1月～3月)、浜岡原子力発電所の1号機及び2号機は廃止措置中であり、3号機、4号機及び5号機は運転停止中でした。

なお、令和7年7月15日現在、3号機、4号機及び5号機については定期事業者検査及び地震・津波・重大事故対策等を実施しています。

「原子力だより」の内容についてご質問等がありましたら、下記までお寄せください。

静岡県原子力発電所環境安全協議会事務局
静岡県危機管理部原子力安全対策課

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL.054(221)2088 FAX.054(221)3685

E-mail antai@pref.shizuoka.lg.jp

ホームページアドレス: <https://www.pref.shizuoka.jp/kensei/introduction/soshiki/1003618/1030308.html>

静岡県環境放射線監視センター

〒421-0411 牧之原市坂口3520-17 TEL.0548(29)1111 FAX.0548(29)0335

ホームページアドレス: <http://www.hoshasen.pref.shizuoka.jp>



この印刷物は、75,000部発行し、1部あたりの制作・印刷経費は6.5(小数点第2位四捨五入)円です。

原子力だより No. 205



解体現場(サブプレッションチェンバ)の確認



解体現場(サブプレッションチェンバ)の確認



解体現場(原子炉圧力容器上蓋)の確認



解体現場(原子炉圧力容器上蓋)の確認

平成21年に運転を終了した浜岡原子力発電所1、2号機では、廃止措置が進められています。現在、原子炉領域の解体(第3段階)が行われています。

静岡県は令和7年2月と5月に浜岡原子力発電所2号機の解体工事の進捗状況を現場にて確認しました。

令和7年1月～3月の環境放射能の調査結果

静岡県原子力発電所環境安全協議会では、浜岡原子力発電所の周辺環境の安全を守るため行っている環境放射能調査の結果を、四半期ごとに取りまとめ、「原子力だより」でお知らせしています。

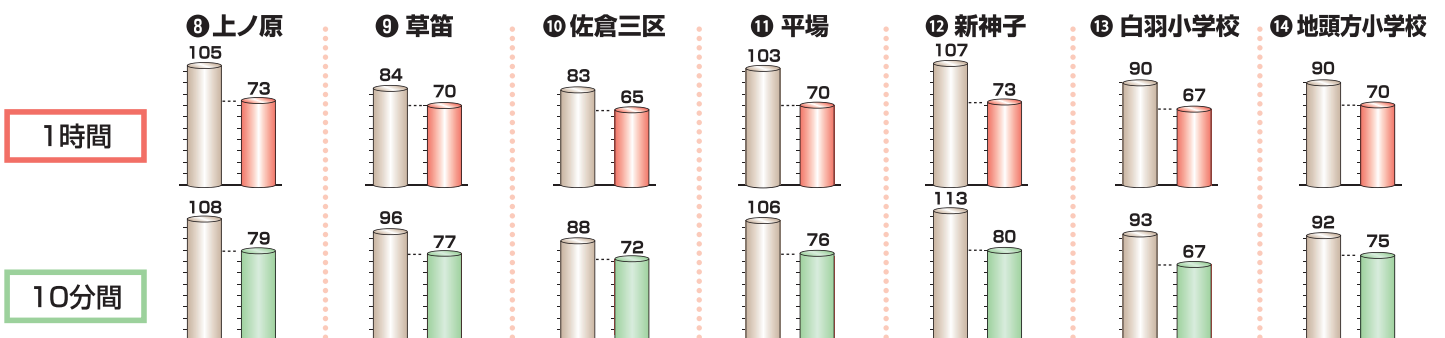
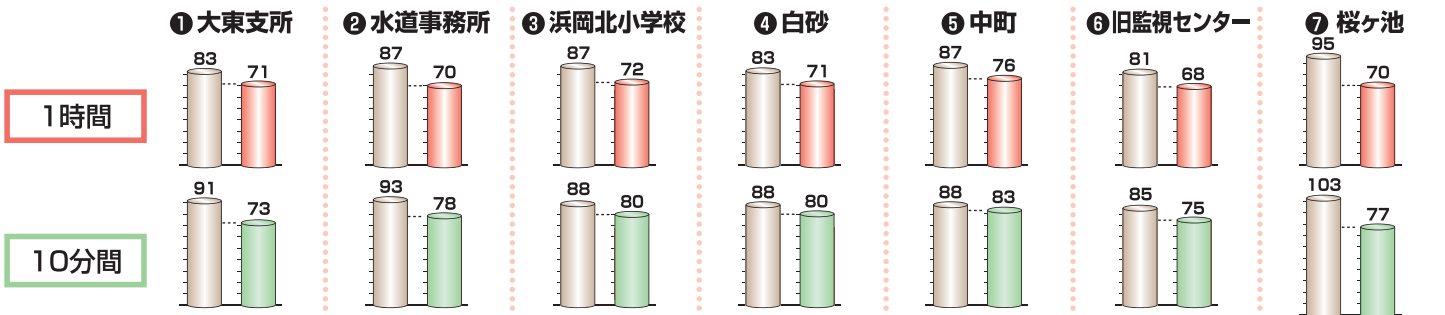
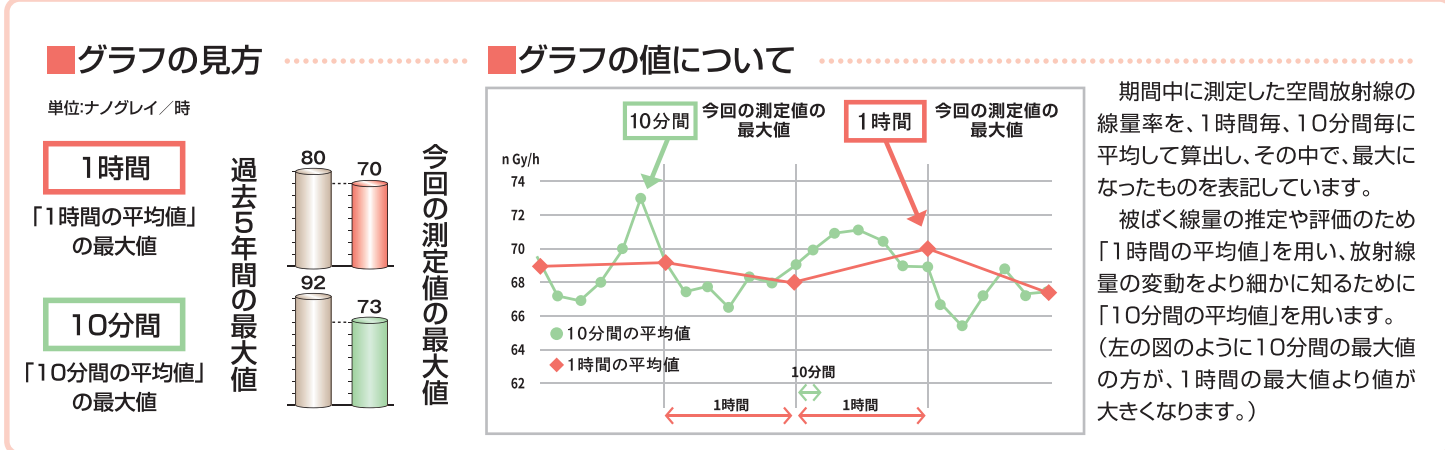
令和7年1月から3月の調査結果では、浜岡原子力発電所からの環境への影響は認められませんでした。

今回の調査結果では、東日本大震災に伴う東京電力 福島第一原子力発電所の事故や過去の核爆発実験等による人工放射性物質の影響が見られましたが、**健康への影響は心配ないレベルでした。**(詳細は次ページ)

令和7年1月～3月の 浜岡原子力発電所周辺の環境放射能調査結果

空間の放射線の測定（1時間平均値および10分間平均値の最大値）

モニタリングステーション（14か所）において、常時、空間放射線の量を測定しています。令和7年1月から3月の間の測定結果で過去5年の最大値を超えた地点はありませんでした。測定された値は、東電事故等の影響は認められず、自然放射線由来のものです。



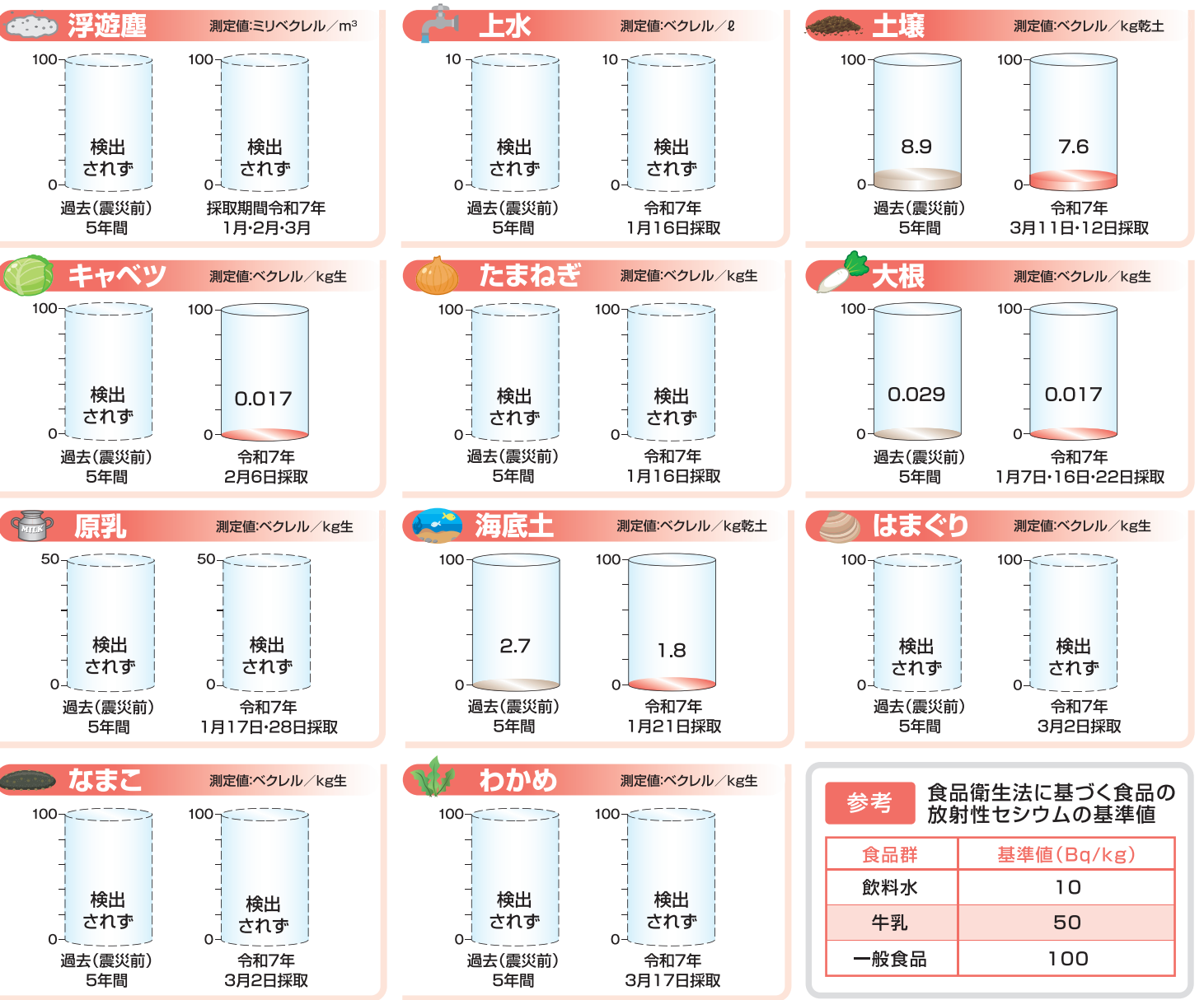
測定結果から、自然放射線による外部被ばく線量は、年約0.29mSvと推定されます。（日本平均約0.33mSv、世界平均約0.48mSv※）
※新版 生活環境放射能(国民線量の算定)平成23年12月(原子力安全研究教会)から引用

農産物などの放射能の測定

浮遊塵や農水産物などについて、放射能を測定しました。令和7年1月から3月の間に測定した試料の一部※は、過去（震災前）5年間の最大値を上回りましたが、いずれも国の基準*等を大きく下回るものでした。検出された放射能は、過去の核爆発実験などの影響によるものや、東京電力 福島第一原子力発電所の事故の影響によるものと推定しました。

※測定した11試料32検体のうち、1試料1検体（キャベツ1検体）
*食品衛生法に基づく基準値（参考欄参照）

代表的な試料の放射性セシウムの測定値の最大値

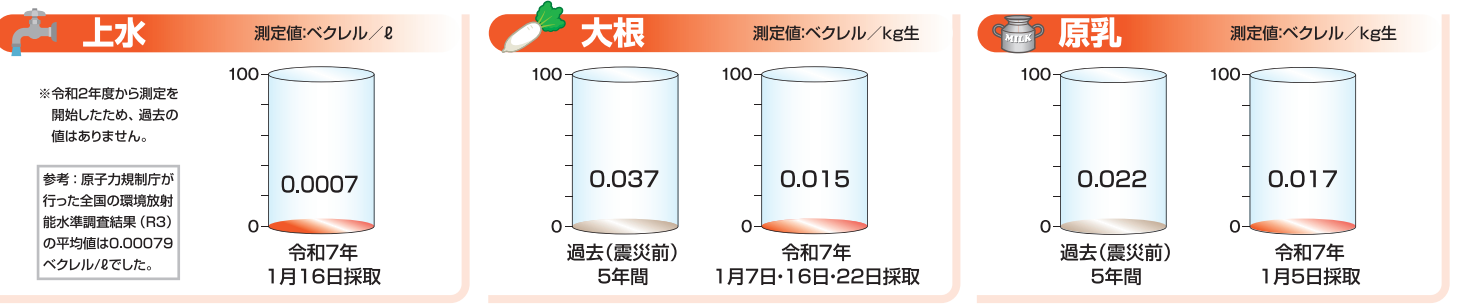


参考

食品衛生法に基づく食品の放射性セシウムの基準値

食品群	基準値(Bq/kg)
飲料水	10
牛乳	50
一般食品	100

代表的な試料の放射性ストロンチウムの測定値の最大値



放射能調査に用いる単位

■グレイ (Gy)	……放射線のエネルギーが物質に吸収された量（吸収線量）の単位	《参考》ミリ (m)	……1/1,000	千分の1
■シーベルト (Sv)	……吸収線量を元に人体への影響を考慮して算定した線量の単位	マイクロ (μ)	……1/1,000,000	百万分の1
■ベクレル (Bq)	……放射能の強さを表す単位	ナノ (n)	……1/1,000,000,000	10億分の1